

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
18	東京純心大学	発達看護学Ⅲ(老年)	塚本 都子 看護学部看護学科 教授	1	後期		8		東京純心大学	5

【到達目標】

1. ライフサイクルからみた老年期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を説明できる。
2. 高齢者を取り巻く保健医療福祉の動向や課題を述べるができる。
3. 高齢者の権利擁護について説明できる。
4. 老年看護の理論と概念について述べるができる。
5. 高齢者の健康障害の特徴をふまえ、看護の原則と目標を説明できる。

【授業の概要】

本科目は、ライフサイクルからみた老年期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を疑似的な生活体験をもとに学ぶ。具体的には、避けることのできない老いに対して、フレイルやサルコペニアの視点から取り上げ、高齢者個々の日常生活への影響について考察する。また、少子超高齢社会がすすむ現在、我が国の老年人口の推移と特徴をふまえ、世帯構成や要介護者の割合と要因を理解し、高齢者を取り巻く保健医療福祉の動向や課題を学ぶ。さらに、老年看護を支える理論・概念、高齢者の権利擁護を基盤に老年看護の役割と目標を学修する。

【授業内容】

1. イントロダクション 1) 老いのイメージ 2) 高齢者の健康 3) 加齢と老化 4) フレイルとサルコペニア

2. 3. 老年期にある対象の身体的特徴

- 1) 老化の疑似的生活体験 【グループ演習】

- (1) 視力低下、視覚障害
- (2) 手指の巧緻性の低下
- (3) 聴覚低下
- (4) 全身の筋力や関節可動域の変化

- 2) 臓器・器官別の加齢性変化

- (1) 脳・神経系 (2) 心・血管系
- (3) 呼吸器系 (4) 消化器系
- (5) 腎・泌尿器系 (6) 骨・筋・運動器系
- (7) 造血器・生殖器系

4. 老化による日常生活への影響

- 1) 身体的側面の変化
- 2) 知的・認知的側面の変化
- 3) 心理的側面の変化
- 4) 社会的側面の変化

5. 老年期の発達課題

- 1) 発達理論と発達課題
- 2) 老年期の発達課題
- 3) スピリチュアリティ

6. 人口学的指標からの老年期の理解および医療のしくみ

- 1) 高齢化と高齢者世帯
- 2) 高齢者の健康状態、平均寿命、健康寿命、死亡の動向
- 3) 高齢者と家族機能
- 4) 介護家族の課題
- 5) 高齢者の医療のしくみ

7. 老年看護の原則と目標【1】

- 1) 高齢者に対するスティグマ、エイジズム
- 2) アドボカシー、アドボケート
- 3) ノーマライゼーション
- 4) 自立支援

8. 老年看護の原則・目標【2】

- 1) 高齢者虐待/身体拘束
- 2) 権利擁護のための制度
- 3) 老年看護における看護理論
 - ・エンパワメント
 - ・ストレングスモデル
 - ・ライフレビュー
 - ・コンフォート理論
- 4) 高齢者のための国連原則
- 5) まとめ

【成績評価方法】

課題①レポート15点、課題②レポート15点、定期試験70点とし、総合評価する。

レポートの評価基準は、「到達目標1～5」に示している「視点ならびに根拠の明確化の程度」で作成した評価表を用いて評価する。

【教科書】

亀井智子:老年看護学①老年看護学概論/老年保健 第5版、/メヂカルフレンド社。

【参考書、教材等】

1. 百瀬 由美子, 奥野 茂代ほか:老年看護学—概論と看護の実践 第6版,ヌーベルヒロカワ.
2. 北川公子ほか:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 9版, 医学書院.
3. 佐々木英忠ほか:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 5版, 医学書院.

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。